

平成 26 年度 第 4 回日本粘土学会評議員会議事録

日 時：平成 26 年 9 月 25 日(木) 12:00—13:15

場 所：福島市 MAX ふくしま 4 階「A・O・Z (アオウゼ)」D 会場

出席者（順不同、敬称略）

山田、八田、中川、山崎、志々目、永田、久保、小暮、高橋、宮脇、鈴木（正）、高木、蛭名、田村、亀島、川俣、伊藤、太田、會澤、福士、篠原、河野、日比野、佐藤（努）、佐藤（久）岡田、万福、土信田、横山（記）

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況（八田）：第 53 巻 1 号以降の現状と発行予定に関して報告された（別紙）。また、編集委員を 16 名に増員する予定であることが報告された。
- (2) Clay Science の発行・編集状況（河野）：Vol. 17 No. 3 から Vol. 18 No. 2 までの編集・発行状況について報告がなされた（別紙）。また、現状では投稿数が少なく、定期発行が難しい状況であり、会員による論文の投稿を要請された。また、岩手大学図書館より Clay Science データの使用許可申請がなされたため了承したことが報告された。
- (3) 会計（志々目）：平成 26 年度の会計報告がなされた。粘土科学討論会参加登録料を事前振込みにしたことにより予算の運用に若干の改善が見られるとの報告があった。
- (4) 行事：第 58 回粘土科学討論会準備状況（鈴木(正)）：第 58 回粘土科学討論会の参加人数等、準備状況の報告があった。また、第 59 回粘土科学討論会を山口大学で開催する旨報告があった。
- (5) 国際協力（佐藤(努)）：AIPEA へ粘土学会の年次報告を提出した旨報告があった。また、EUROCLAY2015、Asian Clay（中国）に関する情報提供があった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土（宮脇）：標準粘土の依頼状況に関する報告があった。
 - ②シンポジウム（鈴木）：特になし。
 - ③ホームページ（岡田）：ホームページを更新したことが報告された。
 - ④研究グループ（八田）：特になし。
- (7) 庶務 会員動向等（山崎）：会員動向に関して報告がなされた（別紙）。
今後、連合等の担当を篠原委員に引き継いでいくとの説明があった。
- (8) 事務局（土信田）：特になし。
- (9) その他：特になし。

2. 審議事項

- (1) 平成 26 年度の決算および会計監査について（志々目、久保）：平成 26 年度の会計決算に関して報告がなされた（別紙）。また、会計監査役より決算報告の記載事実に関

違うことを8/25に確認したとの報告があった(別紙)。また、標準粘土試料委員会会計決算および学術振興基金に関する報告もなされた(別紙)。

- (2) 平成27年度予算案について(志々目):平成27年度会計予算(案)について説明があり、了承された(別紙)。
- (3) 法人化準備委員会から法人化委員会への移行について(八田):法人化準備委員会の「日本粘土学会法人化の検討(答申)」に従い、法人格を有する「一般社団法人日本粘土学会」を設立するために、法人化準備委員会を法人化委員会へ移行する旨説明があり、了承され、総会に諮ることになった。
- (4) 総会の議事次第について(八田):平成26年度日本粘土学会総会議事次第(別紙)に関する説明があり、了承された。
- (5) その他:特になし。

3. 協議事項

特になし。

4. その他

特になし。